

健康経営に関するその他の取組み

(1) 健康管理に関する会社のサポートおよび社員のセルフケアについて

伊藤園では『伊藤園グループいきいき健康宣言』の実現に向け、社員の健康管理において各種取組みを行っています。考え方としては、社員一人ひとりの健康状態に合わせ「予防」「指導」「治療」「両立」の観点から、それぞれに合わせた支援を行っています。

	会社のサポート（制度構築・周知）	社員のセルフケア（理解・行動）
予防	健康診断受診率100% 全事業場（海外含）でのストレスチェック実施 充実した検査項目による予防と早期発見の徹底 感染症対策の継続的取組み 労災撲滅に向けての職場環境の改善 健康に関する予防教育の充実化 時間外労働時間の削減と有給休暇取得率の向上 余暇の充実に資する福利厚生制度の拡充	常に積極、前向きな心、笑顔を心がける 主体的に自己の健康づくりに取り組む ・健康診断の確実な受診 ・ストレスチェックの受検 ・健康に関する予防教育の受講 ・会社の各種サポート制度の理解 規則正しい生活習慣を実行する ・バランスの取れた食事 ・適正体重の維持 ・適度な運動 ・良い睡眠 自分の体調にあった伊藤園製品を活用することができる
指導	健康診断の結果、注意が必要な社員への健康指導・助言 ・病院の紹介、予約サポート ハイリスク者に対する継続的な健康指導・助言 ・保健師、産業医による文書指導等の実施および 継続的な治療サポートの実施率 100%	健診結果をもとに再検査・精密検査を主体的及び 速やかに受診する ハイリスク者のための教育を受講する
治療	治療中の社員に対する健康指導・助言 ・病院の紹介、予約サポート ・通院、服薬の継続確認（治療中断防止） ・当人の上司、職場への理解促進サポート ・必要に応じた経年でのフォロー継続	継続的な治療を受けるため、家族・職場への 働きかけを主体的に行う
両立	病気と仕事の両立支援「ファミリーサポート制度」 の充実	「ファミリーサポート制度」の内容について 理解し、家族にも説明できる

(2) 社内の取組み

① 認知症予防に向けた取組みについて

社会的課題となっている認知症への理解を深める活動の一環として、認知症サポーター養成講座の受講、筑波大学教授による講義、全社員対象のe-learning配信など、定期的な勉強会を実施しています。また一定年齢ごとに会社負担で「MCI（軽度認知障害）スクリーニング検査」を受けられる制度もあり、予防につながる取組みを積極的に行っています。



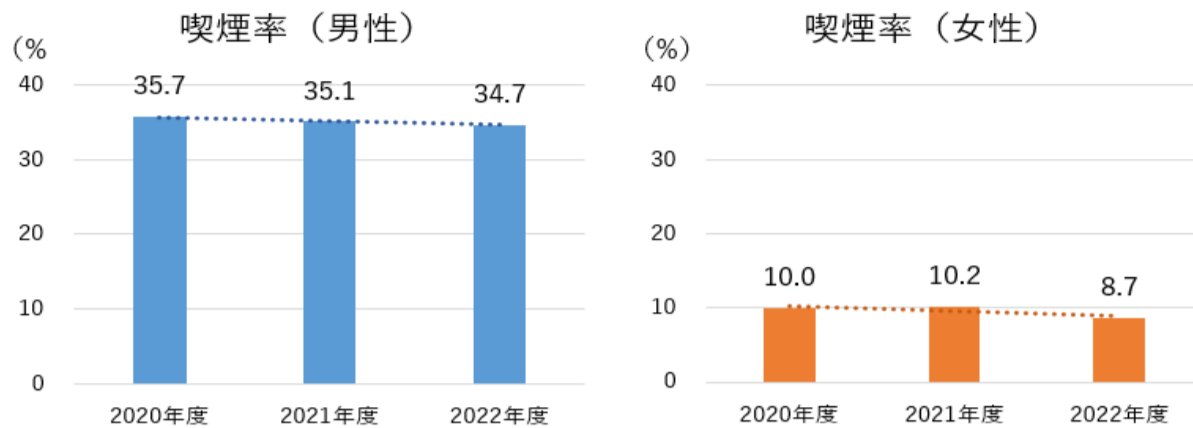
伊藤園本社で筑波大学教授による勉強会の様子

【MCIスクリーニング検査 受検者数】

2020～2022年度	253名
費用総額	4,207千円

② 禁煙に向けた取組みについて

喫煙による弊害は多くの病気と関係しており、喫煙対策は重要な健康課題と認識しています。喫煙率を下げる取組みとして、禁煙外来補助金制度（2021年度より全額補助）や、喫煙者の生活改善に向けた健康教育、衛生委員会や職場環境改善推進委員会での審議を毎年繰り返し行っています。このような取組みの結果、喫煙率の低下傾向が続いております。



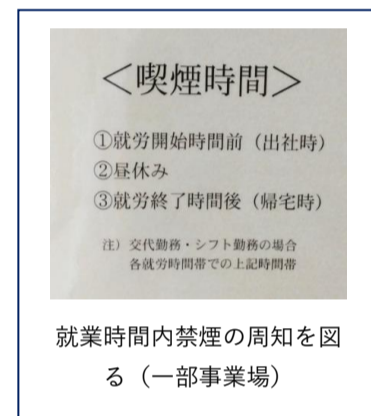
【2022年度実績】

e-learning（禁煙）受講率	59.4%（※1）
e-learning（禁煙）理解度	99.8%（※2）
e-learning（禁煙）満足度	99.3%（※3）

※1 受講対象者5,567名の参加率

※2 アンケート回答者2,679名のうち「理解できた・だいたい理解できた」と回答した人の割合

※3 アンケート回答者2,679名のうち「満足・やや満足」と回答した人の割合



③ 階段使用の推奨『3アップ・4ダウン運動』について

運動による健康保持増進および環境にやさしい取組みとして、エレベーターではなく階段の使用を推奨し、『3アップ・4ダウン運動』を実施しています。本社や一部の事業場では、消費カロリーのステッカーを設置し、視覚的にも効果を感じられるような工夫を施しております。



④ メンタルヘルスケアに関する取組みについて

心とからだの健康維持増進の一環として、事業所規模にかかわらず、すべての事業所でストレスチェックを実施しています。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による外部環境の変化もあり、高ストレス者率がやや増加傾向にありますが、社内相談窓口の周知や集団分析等を活用し改善に努めています。

〈2022年度実績〉

・ 「仕事に満足だ」の平均得点	2.4点	※最低1点～最高4点で、高得点ほど不満足を表す
・ 「働きがいのある仕事だ」の平均得点	2.2点	※最低1点～最高4点で、高得点ほど悪い状態を表す
・ 上司の支援の平均得点	7.5点	※最低3点～最高12点で、高得点ほど支援が良好な状態を表す
・ 同僚の支援の平均得点	8.0点	※最低3点～最高12点で、高得点ほど支援が良好な状態を表す

⑤ 健康教育の実施（e-learning教育）について

毎日の規則正しい生活習慣を行うため、全社員を対象とした健康教育を行い、正しい知識に基づく健診結果の管理、自身の健康状態の把握、健康意識の向上を図っています。また、特定の健康リスクの高い社員に対しては、生活習慣の改善、病気の予防・早期発見のための教育を行っています。

健康教育受講割合（e-learningによる教育）	65.9%
---------------------------	-------

⑥ 健康経営アドバイザーの資格取得支援について

健康経営の実現に向けて、健康経営に関する基本的な知識を体系的に学び、普及・啓発する人材育成、推進体制の構築を図るため、国の委託を受けて東京商工会議所が認定する「健康経営アドバイザー」の資格取得を支援しています。

⑦ 『野菜・果実マイスター制度』有資格者による取組みについて

2022年度から当社の主力製品カテゴリーのひとつである「野菜・果実」に関連して、社内資格制度「野菜・果実マイスター制度」を発足しました。「野菜・果実」を中心にその健康性について学ぶことを通じて社員の知識の底上げや社員自身の健康のため社内で勉強会を実施したり、社外での食育活動を通して、お客様と社員の健康で豊かな生活をサポートできる社員を育成しています。

※2022年度（初年度）は429名が〔初級〕に合格しています。また2023年度には新たに〔上級〕もスタートしました。

⑧ 仕事との両立支援 『ファミリーサポート制度』 について

「ファミリーサポート制度」とは、社員とその家族が物心両面にわたる豊かさを得ることができるよう、社員とその家族のライフイベントを支援する制度です。育児休業の拡充（一部有給化）や病気との両立支援（柔軟な働き方）、不妊治療への支援（休職・補助金）や介護に対する支援（時間や日数を短縮できる勤務制度、介護専用相談窓口の設置）を制度化するなど様々な取組みを行っています。

【取組み事例：不妊治療への補助金】

不妊治療補助金 費用総額	15,685千円
--------------	----------

※2017年度～2022年度までの利用者 117名（累計）

（3）社外の取組み

① 食育活動の取組みについて

社内資格制度「ティーテイスター（※）」や「野菜・果実マイスター」を中心に、お茶・野菜・果実の健康性や健康的な食生活をテーマとした食育活動を地域社会の皆様、自治体、学校、企業等へ行っていきます。

※厚生労働省 社内検定認定制度「伊藤園 ティーテイスター社内検定」に合格した社員

② 『伊藤園 ウェルネスフォーラム』への取組み

当社はお茶を通じて社会課題の解決に貢献し“豊かに生きる”社会の実現を目指しています。

その一環として2019年から「伊藤園健康フォーラム」を開催し、“お茶で人生100年時代を豊かに生きる知恵”として、専門家の方々と共に、茶カテキンの効用や抹茶の健康性などお茶の健康価値を伝える取組みを行っています。（2023年は6月8日（第8回）実施）



③ 健康に資する高付加価値製品の企画・開発・提案について

ビタミンやミネラルなどの摂取不足や脂肪・砂糖・塩分等の過剰摂取による栄養面の課題に対して、お客様の健康ニーズに合った製品開発に取り組んでいます。研究成果をいかし、ガレート型カテキンやテアニンなどの機能性を含み、健康価値が明確な特定保健用食品・機能性表示食品を幅広いカテゴリーで開発することにより、健康的な生活習慣に貢献しています。

④ ウェルネス自動販売機の展開について

「人生100年時代」に向けて、健康を意識した製品ラインアップを豊富に取り揃えたウェルネス自動販売機を展開しています。